動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号（動力車会館）
電話 {（鉄電） 千葉 2935・2936番
（公） 043（222）7207番

96.8.13 No. 4447

ヒロシマ・ナガサキ・オキナワを繰返すな！

反戦共同行動委員会の「反戦ツアー」による八・六ヒロシマ―八・九ナガサキ連続闘争に、動労千葉からも三名（長崎へは代表一名）が参加し、連日の猛暑を吹き飛ばす熱気溢れる集会・デモを、全国から結集した人たちとともに闘い貫いてきました。

【八月六日・広島】 七時三〇分、広島大学より原爆ドームに向けてデモ行進。平和公園での橋本首相の記念式典出席に弾劾のシュプレヒコール。

一〇時、アステールプラザでの反戦集会の分科会に参加。第一分科会「安保と沖縄」では、前違憲共闘議長・宜保さんの講演が行なわれ、宜保さんの生い立ちや反戦闘争へのきっかけとなった出来事、沖縄の現状などが語られた。

一五時、広島反戦行動として平和資料館前で集会を行い、原爆ドームまでのデモを行なう。

一七時、県民文化センターでの広島反戦・反核集会に参加。被爆者・被爆二世、沖縄からの訴え、各界からの発言やフォークバンドや三線（さんしん）の演奏。動労千葉からも沖縄・広島・長崎をともに闘う決意と国鉄闘争への結集を呼びかける特別報告を行なう。

【八月七日・岩国】

山口県岩国市に移動し、米軍岩国基地撤去闘争を闘う。

一〇時から、岩国基地フィールドワークを行い、基地の実情について説明を受ける。その後、自治労岩国市職労の人から基地の機能強化につながる沖合拡張の問題や自治労の行なったアンケートに見られる基地に対する地域住民の不安や問題点について説明が行なわれる。

一三時、岩国基地撤去全国決起集会が、岩国市労働会館で行なわれ、「沖縄が反対している基地を撤去しよう」と訴えられ、一四時三〇分から岩国基地ものは全国でもいやだ。全ての基地を撤去しよう」と訴えられ、一四時三〇分から岩国基地までのデモ行進を行なう。

【八月八日・長崎】

長崎に移動後、一六時から長崎原爆資料館前で八・九反戦集会の街頭宣伝とカンパ活動を行ない、資料館を利用する多くの労働者市民に訴える。

【八月九日・長崎】

七時三〇分、沖縄の反戦地主・知花昌一さんとともに朝鮮人被爆者慰霊式典に参加し、献花する。

一〇時、浦上天主堂前公園での長崎反戦・反核闘争として集会とデモを行なう。

一四時、被爆しながらも歴史から葬り去られてきた韓国・朝鮮人被爆者の実態を明らかにした「岡まさはる記念館」を見学し、日本の朝鮮・中国・アジアに対する語られることのなかった侵略の事実を目のあたりにする。

一五時、八・九長崎反戦集会の第一部として、反戦コンサートが勤労福祉会館で行なわれ、沖縄県人会の若者による「エイサー」や琉球アーチストの宮村みつおさんと知花昌一さんによる三線の合奏などが行なわれ、会場からもヤンヤの喝采が沸き起こる。

一七時三〇分、コンサートに引き続き「沖縄とともに闘う長崎反戦集会」が行なわれ、長崎市による爆心地公園の記念碑撤去計画に怒る被爆者団体や破防法に反対する団体、反戦自衛官、県内各地はもとより全国で反戦・反核・反基地闘争を闘う労働者市民が結集した。

集会では反戦地主の知花昌一さんの記念講演が行なわれ、来年五月の三千人の地主の期限切れへ向けてさらに闘いを強化すること、そのためにも、九月八日の米軍基地の存否を問う県民投票の圧倒的勝利に向けて、本土の労働者・市民も全力で立ち上がることが呼び掛けられ、圧倒的な集会となりました。

以上、簡単にまとめましたが、連日の日差しが肌を射すような中での連続闘争でしたが、皮膚の暑さとは別に、身体の中からも熱い感動が込み上げる闘争の連続でした。既成の原水禁運動が雪崩をうって右傾化する中で、真の反戦・反核闘争を闘う運動の広がりを感じる闘争でした。

沖縄の基地問題を講演

反戦地主の知花さん

被爆地と沖縄の反戦運動の連帯などを目指す被爆五十一周年「長崎反戦集会」が九日夜、長崎市桜町の県勤労福祉会館であり、国の「不法占拠」状態が続く米軍楚辺通信所（沖縄県読谷村）の反戦地主、知花昌一さん㈤が「基地も安保もいらない 沖縄からの熱き訴え」と題して講演した。

同県の反戦地主や佐世保市の市民団体などでつくる「反戦・反核闘争全国統一実行委」（呼び掛け人・知花さんら七人）の主催。学生や労組員、被爆者ら約三百人が詰め掛けた。

知花さんは、沖縄の米軍基地撤去運動の経過や自らの土地を強制使用された苦しみなどを話し、「所有地の軍用地使用を拒むのは、自分の土地を戦争に使わせるわけにはいかない、という思い一つ」と強調。

「少女暴行事件が発生するまで沖縄の反基地運動が広がらなかったのは残念」とした上で「少女の犠牲に報いるためにも、基地返還など目に見える形の勝利を勝ち取りたい」と訴えた。

沖縄の基地問題について講演する反戦地主の知花昌一さん＝長崎市桜町、県勤労福祉会館＝

日刊動労千葉の号数が間違っていました。誤№4446→**正№4445**・誤№4447→**正№4446**です。お詫びし、訂正します。

新たな10万人合理化粉砕！ 労働運動の新たな潮流めざし全国へはばたこう！